

## 河越夜戦跡(川越市)

ここが河越夜戦の主戦場となった東明寺/1457年に扇谷上杉氏家臣の太田道真、道灌親子が築いた河越城のエリアの北西側に所在する



河越夜戦は、毛利元就と陶晴賢が戦った厳島の戦い(1555年)、織田信長と今川義元が戦った桶狭間の戦い(1560年) と並んで、「日本三大夜戦」あるいは「日本三大奇襲」の一つに数えられている/左手に説明坂が立っている





「夜陰に乗じて猛攻撃を開始した。これに呼応して城兵も城門を開いて打って出たので、東明寺口を中心に激しい市街戦となった。」とある

# 川越夜戦跡

所在地 川越市志多町

天文六年（一五三七）の戦いで、北条氏綱に川越城を  
取られた扇谷上杉朝定は、再びこれを奪還すべく山内上  
杉憲政、古河晴氏と連合して総勢八万余騎をもって、同  
十四年十月に川越城を包囲した。一方、福島綱成のひき  
いる城兵は、わずか三千でたてこもっていたが、翌十五  
年春にはすでに兵糧も尽きて非常な苦戦におちいつてい  
たところ、北条氏康が八千騎をひきいて援軍としてかけ  
つけ、四月二十日の夜陰に乗じて猛攻撃を開始した。こ  
れに呼応して城兵も城門を開いて打って出たので、東明  
寺口を中心に激しい市街戦となった。多勢をたのんで油  
断しきっていた上杉・古河の連合軍は、北条方の攻撃に  
耐えられず散々となつて松山口に向つて敗走をはじめ、  
この乱戦の中で上杉朝定は討死し、憲政も上州に落ちの  
びたと伝えられている。敵に比べて問題にならないくら  
い少ない兵力で連合軍を撃滅したこの夜戦は、戦略とし  
て有名である。

昭和五十八年三月

埼玉県

当時の河越城の縄張図(「埼玉県川越の観光・お出かけ・地域情報サイト カワゴエール」より)/東明寺は上杉憲政軍と書かれている辺りに所在する

### 川越夜戦 天文六年(1537)





境内の中央に石碑が立っている





「市指定史跡 川越夜戦跡」と記されている





裏面に説明書きがある/河越夜戦は、1546年、勢力を伸ばしてきた小田原北条軍VS古河公方・山内上杉氏・扇谷上杉氏の三者連合軍が武蔵国の河越城(現在の川越市)の付近で戦い、北条軍が勝利を収めた戦い/その後、次第に北条氏が、「義と筋目」の武将・上杉謙信の「雪中越山」で茶々を入れられるが、1590年に豊臣秀吉に敗れて滅亡するまで、関東の大半を手中に収めることとなる/この河越夜戦は小田原北条氏の戦国大名としての地歩を固め、武蔵国進出を決定的ならしめた戦で、言わば「関東戦国史の分水嶺」となる戦いであった





正面が本堂





右手に説明板が立っている





「川越野戦は、一名東明寺口合戦といわれ、この地の要路松山街道を含んだ東明寺寺領と境内で争われたものである」と記されている

# 東明寺

所在地 川越市志多町

東明寺は、時宗（開祖一いっぺん遍上人）の寺でいなりしろうみょう稻荷山称名院東明寺と称し、本尊はこくごうぼさつ虚空蔵菩薩である。

お寺の位置は、川越台地の先端が水田地帯に接する北の端にある。このあたりからは、しんがし新河岸川を境として川越の町の北側を入間川を主流とする分流が幾筋も流れ、水田地帯を形成しており、古くからこの穀倉地帯を領する多くの武士団が存在した。東明寺は、こうした土豪の一人かわごえ河越氏の庄園の東端に連なる広い寺領を有していた。その寺領は、東明寺村、寺井三か村、寺山村などに及び、広大な境内を有して、その惣門は今の喜多町の中ほどにあったと伝えられている。このことから、喜多町の古名を東明寺門前町と称したといわれている。てんぷん天文十五年（一五四六）四月に戦われた上杉、北条軍の川越野戦は、一名東明寺口合戦といわれ、この地の要路松山街道を含んだ東明寺寺領と境内で争われたものである。

昭和五十七年三月

埼玉県



本堂の右手にも説明坂が立っている



# 虚空蔵菩薩

鎌倉時代以前に創立されたと言われる  
當山、稻荷山称名院東明寺の本尊様は  
「虚空蔵菩薩」であります。この菩薩様  
は智慧と福德と大空（虚空）のように無  
尽蔵にお持ちであると云うところから「虚空  
蔵菩薩」と名付けられた。わが国では  
平安時代から信仰され、末く聞持きこ法ぽうとよ  
ばれる。頭脳と明晰にし、記憶力を増す  
ための修行をする時の本尊なのである  
が、後世になつて、一般大衆に広く仏  
教が広まるに従い、福德の面が一層強  
く信心されるようになり、現在のよう  
に学問と福德を授ける菩薩として広く  
崇敬され、信仰されるようになった。  
尚この菩薩様は、十三仏の一仏で十  
二支の丑寅生れの方々の守り本尊でも  
あり、亦毎月十三日が縁日であります。



扁額



本堂左脇には四面幢があった





その一面をアップで見たところ





本堂から山門方向を見たところ





参考ホームページ

<https://ckk12850.exblog.jp/581743/>

<http://4619.web.fc2.com/shiro538.html>

<http://blog.doukan.jp/article/92898673.html>

<https://blog.goo.ne.jp/ihcirot/e/8041ea1b34f070db109f5641005af931>

<https://atenzasports23z.blog.so-net.ne.jp/2008-05-04>

<https://yukarino.jp/articles/5460744>

[https://blogs.yahoo.co.jp/myriver1020/42964331.html?\\_vsp=5bed6LaK5aSc5oim5Y%2Bk5oim5aC06Leh](https://blogs.yahoo.co.jp/myriver1020/42964331.html?_vsp=5bed6LaK5aSc5oim5Y%2Bk5oim5aC06Leh)

<http://tashumi.net/posts/news29.html>

<http://yogokun.my.coocan.jp/kawagoeyasen.htm>

<http://www.kawagoe-yell.com/sightseeing/kawagoeyasen/>

[https://blogs.yahoo.co.jp/lunatic\\_rosier/64154556.html?\\_vsp=5bed6LaK5p2x5piO5a%2B6](https://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/64154556.html?_vsp=5bed6LaK5p2x5piO5a%2B6)

